

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短歌

散り残り白木蓮が二輪あり

ピンクに染めるとなりの桜

●松戸市 秋元輝美

制服に年齢よわい問わずに腕通す

凜と前向く桜坂

●東京都大田区 市川 恒

働けるこの健康に感謝せむ

汗にまみれし作業着を脱ぐ

●東京都神津島村 石田希代子

燕来て泥もて泥をかきねつつ

軒の古巢を改築したり

●三浦市 秦 孝浩

三井寺の桜並木の花乱舞

びわ湖の湖畔色染たりし

●福知山市 岬尾 充

寒さよけわらを飛びだしわたしもよ

春を告げるはエンドウの花

●香芝市 高田尚昭

俳句

場所取りも花より団子買つて出る

●仙台市 菱沼俊行

初鳴きや地酒ハチノコ白馬宿

●神栖市 安澤宏介

古民家の竹林そよと風光る

●本庄市 入 利雄

ポランテア降りみ降らずみ春の雪

●本庄市 長谷川千鶴子

草餅や夫と遊びし土手の上

●草加市 長谷部慎子

揺れてなほ恋に不向きな葱坊主

●戸田市 篠崎志津子

寒去らず早く来てよと蓄たち

●東京都葛飾区 東海洋一

春うららスマホ片手の田舎道

●武蔵村山市 原野晴光

雪降るを遠く眺めて六地藏

●塩尻市 大家協治

背や胸にひとつは口に春の雪

●塩尻市 奥原光夫

黄水仙風わけきれずほっこりと

●塩尻市 小野正平

白飯に添えしふきみそ母の味

●塩尻市 清澤美恵子

音もなき雨に色なき実南天

●塩尻市 町田まさ子

老梅よ陽ざしに映えて我磨く

●綾部市 岩瀧憲一

満開の桜見惚れて散歩道

●長岡京市 宮先一雄

青葉風孫の手を借る花の寺

●門真市 藤岡春男

風船に駆けて行く子や開店日

●伊丹市 磯部芳子